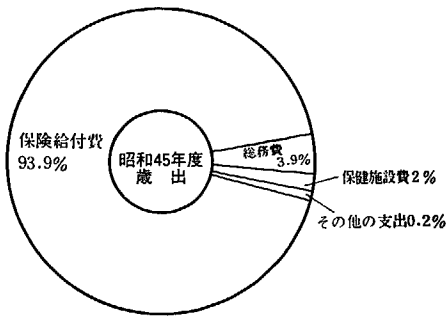
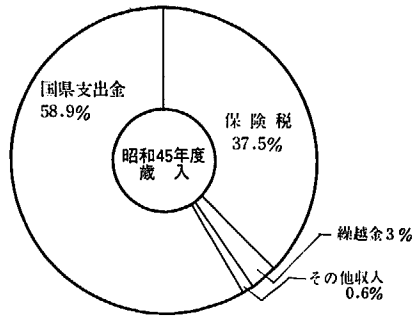


昭和45年度国民健康保険特別会計決算状況

歳入科目	収入済額	歳出科目	支出済額
千円		千円	
保険税	37,239	総務費	3,625
国庫支出金	58,406	養護費	87,097
県支出金	16	助産費	106
繰越金	3,011	葬祭費	138
その他諸収入	551	児童手当	96
		施設費	1,875
		保健支	228
総額	99,223	総額	93,165
保険税		療養給付費	
1世帯当り	26,466円	1世帯当り	60,691円
1人当り	6,681円	1人当り	15,321円



昭和四十五年度 国民健康保険決算について

国民健康保険事業は地域住民の健康とあわせに直接接反映すべく鋭意努力致しております。従来、国保は貧弱であり、他医療制度の受皿的存在であったが現在では立派に成長し、他医療制度と対等になり、給付率もオール七割給付となり将来は八割給付をめざしております。しかし、いづれにしても最近医療制度の抜本改正が焦点になり保険医療制度も大きく変わらうとしております。

幸にして昭和四十五年度国民健康保険特別会計は冬期間における流行感冒の発生なく療養給付費が最少限度の支出で終了し、予期以上に財政的好転を見たわけでありま

しかし会計内において保険税の二、三倍の医療費の支出を生じ、保険税一人当りの負担額は新潟県下二番目の高率であります。被保険者の方々には国保事情をご察の上充分健康に留意されご理解とご協力をお願いいたします。

第五回村P連研修会

村P連会長 藤田 一郎

十一月十五日第五回村P連研修会が岩中を会場にして、村内二百名余の会員が集まって盛大に開催されました。第五回ともなれば運営も軌道に乗り内容も充実しました。村広報を深く致しました。村広報を通して参加されたみなさまの皆様に当日の主な内容をお知らせしたいと思います。

開会式で昨年まで各学校PTAに貢献のあった十一人の方々、大岩教育長より一人一人感謝状をいただき感謝をこまめにお知らせいたしました。

分科会では各校長先生を指導者にいただき、父親が常不在の子どもの母親はどんな心掛が必要でしょうか。

最近の子どもの環境のちがいはあるが手伝いをしていない。文句なしに一緒にやらせたら汗を流して木をかついてくれた。根性がない。ほめることを努力したい。等々活発な発言が次から次へと出ました。

午後は岩中ブラスバンド部のすばらしい演奏を楽しませてもらった後パネルディスカッションに入りました。

司会は岩中の笹川先生、メンバーは各学校の先生二人、一人により現代の子の長所短所について討論が行なわれました。笹川先生のユーモアあふれる進行につれ長所短所色々たびだしてきましました。理論的である。打算的である。計画的である。ズバズバ物を言う。それに対して賛成あり、反対あり。聞いてる人は真剣になつたり、笑つたりしている中に一時間はあつていない感じがしました。

この問題は結論はでないであらうが笹川先生は前置きされて進められたので、現代の子の全貌が浮きましました。

講演は山田佐門先生から庭訓というところについて大変わかりやすいしかも重大な話を聞くことができ皆さん満足して帰られたようです。庭訓とは古く奈良平安時代から伝承されているもので「たちねの庭の訓」は狭いけれど古くは御製を残されている位重要視してお話でした。

①家庭行事を見なおし大切にその基本に両親の結婚記念日をまもってくる子どもたちに提唱させ司会させる。

②家族の生活の波を把握する。これには内容が三つある。

イ、体のリズム(二十三日夜)

ロ、感情リズム(二十八日夜)

ハ、知性リズム(三十三日夜)

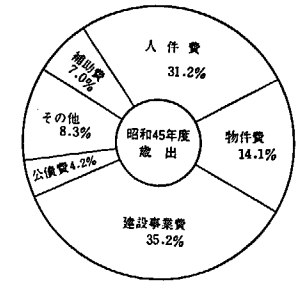
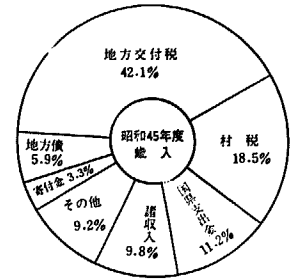
要は説教でなく、一緒に行動する中に子どもが生活の大切な技術方法などを体得するような雰囲気作りが庭訓であるとの話でした。とても話術のうまい先生で皆さん笑いやがら面白くわかりやすいが現在面白くありません。面白くありません。面白くありません。面白くありません。

昭和45年度一般会計決算(見込)状況

繰越額 23,508千円

(注) 各種事業は計画通り実施されましたが、予算執行面の引締めと、収入面の予定以上の伸びが相まって黒字財政が維持されました。これは昭和46年度に繰越され各種事業の財源として有効に使われています。

歳入科目	収入済額	歳出科目	支出済額
総額	383,975千円	総額	360,467千円
地方交付税	71,002	人件費	112,511
自動車交付金	161,459	扶助費	4,894
交通安全交付金	4,974	公債費	15,187
使用料	9,058	物件費	50,810
手数料	779	維持補修費	5,999
国庫支出金	8,866	補助費等	25,284
県支出金	34,113	投資及び出資金	5,658
財産収入	1,887	繰入金	13,160
寄附	12,750	普通建設事業費	122,873
繰越入金	98	災害復旧事業費	4,091
繰越収入	37,812		
地方債	22,700		



昭和45年度特別会計決算(見込)状況

(単位千円)

会計別	予算額	収入済額	支出済額	収支差引額
国民健康保険	101,454	99,223	93,165	5,058
岩室村水道事業	15,437	18,510	15,795	2,715
間瀬簡易水道事業	3,693	3,478	3,452	26
温泉集中加熱事業	19,792	19,278	19,265	13
農業共済事業	14,322	12,718	10,922	1,796

普通建設事業費の状況(昭和45年度分)

(単位千円)

区分	決算額	左の内訳						
		総務費	民生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費
補助事業	27,676			26,656			1,020	
財源内訳	特定財源	22,908		21,908			1,000	
	一般財源	4,768		4,748			20	
単独事業	88,941	1,397	30,100		4,222	47,598	1,959	3,665
財源内訳	特定財源	43,813		10,679		800	30,468	1,866
	一般財源	45,128	1,397	19,421		3,422	17,130	93
県営事業負担金	6,256			1,200			5,056	
財源内訳	特定財源	—		—			—	
	一般財源	6,256		1,200			5,056	
合計	122,873	1,397	30,100	27,856	4,222	52,654	2,979	3,665
財源内訳	特定財源	66,721		10,679		800	30,468	2,866
	一般財源	56,152	1,397	19,421	5,948	3,422	22,186	113